

# 令和7年度入学者向け 京都工芸繊維大学 ダビンチ入試(総合型選抜) 学生募集要項

---

Kyoto Institute of Technology, 2025

## 工芸科学部

応用生物学域 —— 応用生物学課程

物質・材料科学域 — 応用化学課程

設計工学域 —— 電子システム工学課程  
情報工学課程  
機械工学課程

デザイン科学域 —— デザイン・建築学課程



京都工芸繊維大学  
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

# 目次

1. 募集人員	1
2. 試験日程	2
3. 出願資格	3
4. 出願要件	4
5. 出願手続	4
(1) 出願書類	4
(2) 検定料	5
(3) 出願期間及び出願先	5
(4) 障害等のある人との事前相談について	6
(5) 出願状況の情報提供	6
● 出願についての注意	6
6. アドミッションポリシー	7
7. 入学者選抜方法等	9
(1) 実施日	9
(2) 試験場	9
(3) 入学者選抜方法	9
● 受験についての注意	10
8. 合格者発表	11
9. 入学手続	11
10. 入学に要する諸経費	12
11. ダビンチ カレッジ・レディネス プログラム（入学前教育）	12
12. 取得できる資格等	12
13. 入学料及び授業料の免除並びに徴収猶予	13
14. 奨学金制度	14
15. アルバイト紹介	14
16. 住まい	14
17. 学部・学域・課程紹介	14
18. 地域創生 Tech Program について	15
19. 過去のダビンチ入試（総合型選抜）の実施状況	16

■ 令和7年度（令和6年度実施）工芸科学部1年次学生募集人員

■ 出願書類等

志望理由書、履歴書

※入学願書、受験票、宛名ラベル（大学送付用）の様式見本は別途掲載します。

■ 試験場（京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス）への案内

令和7年度

京都工芸繊維大学ダビンチ入試（総合型選抜）学生募集要項

1. 募集人員

工芸科学部

学 域	課 程	募 集 人 員					(参考)	
		一般プログラム		地域創生 Tech Program			学校推薦型選抜	
		【一般】	【グローバル】	【一般】	【地域】	【社会人】	一般	地域 Tech
応用生物 学域	応 用 生 物 学 課 程	7	1	1	若干名		10	1
物質・材料 科学域	応 用 化 学 課 程	6	3	2	若干名		42	1
設計工学域	電子システム工学課程	5	1	2	若干名		18	1
	情 報 工 学 課 程	5	1	2	若干名		14	1
	機 械 工 学 課 程	4	1	2	若干名		20	1
デザイン 科学域	デザイン・建築学課程	30	3	4	2	若干名	10	2
合 計		57	10	合わせて15			114	7

注1 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

注2 ダビンチ入試（総合型選抜）で募集する地域創生 Tech Program は、デザイン・建築学課程を除き、【一般】と【地域】合わせて募集します。また、【社会人】の募集人員（若干名）は、地域創生 Tech Program の各課程の募集人員に含まれます。

注3 ダビンチ入試（総合型選抜）で募集する地域創生 Tech Program のデザイン・建築学課程では、【一般】（又は【地域】）の合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員を【地域】（又は【一般】）に加えます。

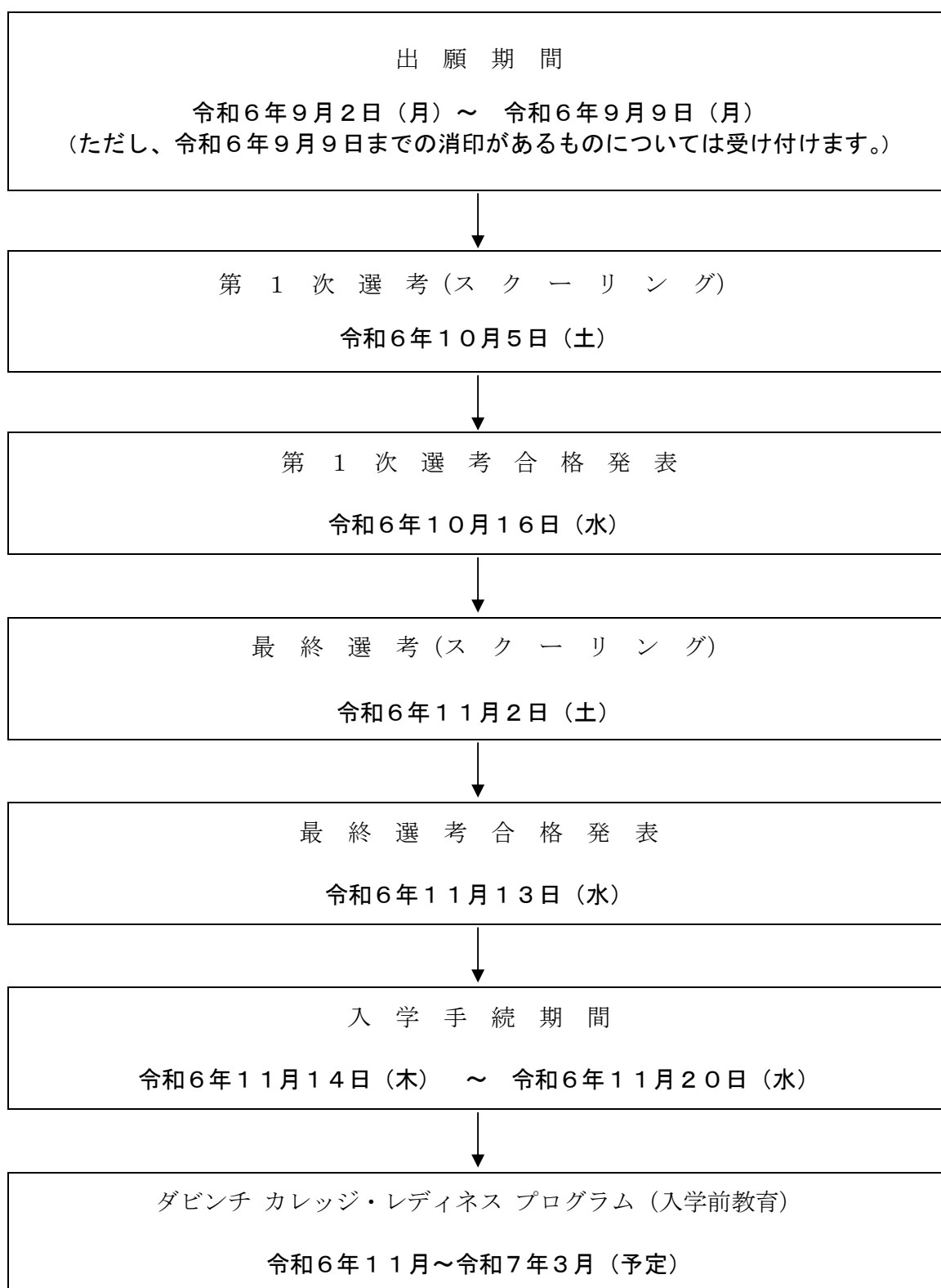
注4 インターネット出願システム登録後は、志望課程の変更や地域創生 Tech Program から一般プログラムに変更することはできません。なお、本学入学後、地域創生 Tech Program から同一課程の一般プログラムに3年次編入学することもできません。

注5 地域創生 Tech Program は昼間コースです。募集区分【社会人】の入学者であっても、昼間（8:50～17:40）に授業を行いますので、十分注意の上、出願してください。

注6 工芸科学部全体の募集人員及び募集人員の取り扱いについては、巻末「令和7年度工芸科学部1年次学生募集人員」をご確認ください。

## 2. 試験日程

### 令和7年度 ダビンチ入試（総合型選抜）日程概要



### 3. 出願資格

#### (1) 一般プログラム【一般】、【グローバル】及び地域創生 Tech Program【一般】

次のAからJのいずれかに該当する人です。

- A 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和7年3月31日までに卒業見込の人
- B 通常の課程による12年の学校教育を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込の人
- C 外国において学校教育における12年の課程を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込の人又はこれらに準ずる人で文部科学大臣の指定したもの
- D 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込の人
- E 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込の人
- F 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベルの資格を有した人及び令和7年3月31日までに資格を有する見込みの人
- G 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、コグニア）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込の人
- H 文部科学大臣の指定した人（昭和23年文部省告示第47号第1号～第19号）
- I 高等学校卒業程度認定試験に合格した人（大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和7年3月31日までに合格見込の人
- J 本学において、下記の「個別の入学資格審査」により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、平成19年4月1日までに生まれた人

#### 出願資格Jに係る個別の入学資格審査の申請について (出願資格J以外で出願する人は不要です。)

1. 個別の入学資格審査の申請を行うことができる人  
学校教育法施行規則第150条第7号の個別の入学資格審査を受けようとする人で、本学に入学する意思があり、入学年度の前年度末までに18歳に達している人。
2. 提出書類  
(1) 入学資格審査申請書 (2) 経歴書 (3) 出身学校等の卒業（見込）証明書  
(4) 出身学校等における学習歴を証明する書類 (5) 出身学校等の学則 (6) 出身学校等の教育課程表  
(7) 社会での実務経験や取得した資格等を証明する書類  
(8) 返信用封筒（長形3号の封筒に、664円分の切手を貼り、申請者のあて先・氏名を明記すること）
3. 審査体制  
本学において、提出書類に基づき適正に審査を行う。  
審査にあたっては、専修学校や各種学校等における学習歴や、大学の科目履修生としての単位取得などの個人の学習歴、あるいは、社会における実務経験や取得した資格等に基づき総合的に判断する。
4. 提出方法  
持参又は書留速達郵便により、封筒に「入学資格審査書類在中」と朱書き郵送すること。
5. 入学資格審査申請期間  
令和6年6月28日（金）から令和6年8月2日（金）（17時必着）
6. 審査結果  
令和6年9月2日（月）までに本人宛郵便により通知します。
7. 本件に関する問合せ先及び書類提出先  
巻末問合せ先参照

#### (2) 地域創生 Tech Program【地域】

次のA又はBに該当する人

- A 出願時に、京都府福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町又は与謝野町の区域に所在地を置く高等学校を令和7年3月31日までに卒業見込の人
- B 京都府福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町又は与謝野町の区域に所在地を置いていた高等学校を卒業した人

### (3) 地域創生 Tech Program【社会人】

次のAからFのいずれかに該当する人のうち、平成14年4月1日までに生まれた人又は令和7年3月31日時点で職務経歴2年以上を有する平成16年4月1日までに生まれた人とします。ただし、職業訓練期間は、職務経歴の期間に含みません。

- A 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和7年3月31日までに卒業見込の人
- B 通常の課程による12年の学校教育を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込の人
- C 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込の人
- D 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込の人
- E 文部科学大臣の指定した人
- F 高等学校卒業程度認定試験に合格した人（大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和7年3月31日までに合格見込の人

## 4. 出願要件

ダビンチ入試（総合型選抜）については、合格した場合本学への入学を確約できる方を対象としています。

## 5. 出願手続（インターネット出願）

出願期間内に、次のとおり手続を行ってください。

①については、本学のインターネット出願システム（<https://www.postanet.jp/info/010050/>）にアクセスし、志願者情報を入力したのち、入力内容が正しいことを十分に確認したうえで、画面の指示に従って検定料を支払ってください。

支払い方法はコンビニエンスストア、クレジットカード、ペイジーより選べます。詳細は、5ページ「(2) 検定料」を参照してください。なお、検定料支払が完了すると①入学願書及び⑦宛名ラベルを印刷できるようになります。

入学願書を印刷後、市販の封筒（角形2号が望ましい）に下記①、②、③又は④及び該当者は⑤、⑥を一括して封入のうえ、⑦を封筒に貼付し、郵便局で「書留・速達」郵便の手続をする等、送達過程を記録する方法により送付してください。直接持参しても受け付けません。インターネット出願システムに登録しただけでは受け付けません。必ず出願書類を郵送で提出してください。

### (1) 出願書類

#### ① 入学願書

インターネット出願システム（<https://www.postanet.jp/info/010050/>）にて所定の事項を入力し、出願者の**写真（上半身、脱帽、正面向き、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの）**をアップロードしてください。その後、検定料の支払手続を行い、入学願書を印刷してください。

※同時に印刷される受験票については、試験当日に持参してください。郵送されても、返送しません。なお、誤って送付した場合又は紛失した場合は再度印刷してください。

#### ② 志望理由書

本学ホームページ（[https://www.kit.ac.jp/test\\_index/school\\_news/type\\_ao/](https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/type_ao/)）より様式をダウンロードし、巻末の「志望理由書作成要領」に従って、志願者自身が作成してください。

#### ③ 調査書

文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、出願期間中に最終学年前期の学習成績が出されていない場合は、判明している学期までの学習成績が記入されている調査書を提出してください。

\*卒業後5年を経過した場合は「卒業証明書」と「単位修得証明書」を、卒業後20年を経過した場合は「卒業証明書」を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）合格者は、「合格成績証明書」をもって調査書に代えることができます。ただし、試験科目の一部に免除された科目がある場合は、その科目にかかる高等学校等の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。

- 
- ④ 出願資格の証明書類（該当者のみ）  
以下の出願資格に該当する出願者は、出願資格の区分に従って、③の調査書に代えて次の証明書等を提出してください。英語以外の外国語で作成されている場合は、日本語又は英語訳も添付してください。科目名や成績評価が符号や略号で表されている場合は、その説明書を日本語又は英語で添付してください。  
出願資格(1)のCに該当する場合  
i. 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書  
ii. 成績証明書（グレードスケールが明記されたもの）  
iii. 日本の高等学校に在学していたことがある人は、その高等学校の調査書  
iv. インターナショナルスクール及びこれに準ずる学校の出身者は、所在国において学校教育の正規課程として認定されていることを証明する書類  
出願資格(1)のD、F、G、Hと出願資格(3)のCに該当する場合  
i. 大学入学資格を取得したことを示す証明書又は取得見込であることを示す証明書（例：国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証明書）のコピー及び資格試験の成績証明書  
※該当する場合で提出書類が不明の場合は、巻末問合せ先に相談してください。
- 
- ⑤ 授業料免除申請書類（該当する希望者のみ） →13 ページ参照  
授業料免除を希望する外国人留学生（在留資格が「留学」の人及び本学入学時までに「留学」の在留資格を取得する人）のうち、次のいずれかに該当する人は、授業料免除申請書類を併せて提出してください。なお、下記以外の人は、入学手続後に申請を受け付けます。  
i. 私費外国人留学生  
ii. 出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人又はその申請をする予定がある人も含まれます。）
- 
- ⑥ 履歴書（外国の学校出身者及び地域創生 Tech Program【社会人】に出願する場合のみ）  
本学ホームページ ([https://www.kit.ac.jp/test\\_index/school\\_news/type\\_ao/](https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/type_ao/)) より様式をダウンロードし、巻末の「履歴書作成要領」に従って、志願者自身が作成してください。
- 
- ⑦ 宛名ラベル（大学送付用）  
インターネット出願システムから印刷した宛名ラベルを、願書等を本学に郵送する封筒に貼付して、使用してください。
- 

## (2) 検定料

17,000 円

支払い方法はコンビニエンスストア、クレジットカード、銀行 ATM（ペイジー）より選択可能です。インターネット出願システムに表示される指示に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払いには別途手数料がかかります。

◎出願期間の概ね 1 年以内に大規模な風水害等により被害を受けた人、及び平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災により被災した人は、願い出により検定料の全額を免除することができますので、該当すると思われる人は、検定料を支払う前のできるだけ早い時期に巻末問合せ先に申し出てください。

## (3) 出願期間及び出願先

- ① 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び出願書類受理期間）  
令和 6 年 9 月 2 日（月）から令和 6 年 9 月 9 日（月）まで  
ただし、令和 6 年 9 月 9 日（月）までの消印（日本国内）があるものについては受け付けます。  
なお、海外からの出願を検討している人は、出来るだけ早い時期に巻末問合せ先に申し出て  
ください。
- ② 出願先  
巻末書類提出先参照
- ③ 受験票  
受験票は、各自でインターネット出願システムから印刷し、試験当日に持参してください。

#### (4) 障害等のある人との事前相談について

本学に出願しようとする人で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前にあらかじめ巻末問合せ先に申し出てください。

なお、申し出に基づき、相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。また、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。

① 相談の時期

原則として、令和6年9月2日（月）まで

② 相談の方法

相談書（健康診断書等必要書類添付）を提出してください。必要な場合は、本学において出願者又は出願者の立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者等）との面談を行います。

#### (5) 出願状況の情報提供

出願期間中の出願状況については、本学ホームページ（巻末問合せ先参照）において随時公表します。

#### ● 出願についての注意

① 次の場合は、出願書類を受理しません。

ア．インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合

イ．出願書類がそろっていない場合

ウ．出願書類の記載が不完全な場合

エ．検定料が支払われていない場合

② インターネット出願システム登録後は、プログラム、募集区分及び志望課程の変更は認めません。

③ 出願書類はいかなる理由があっても返還しません。また、支払済みの検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

ア．検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願書類が受理されなかった）場合

イ．検定料を誤って二重に支払った場合

\*検定料返還請求の方法については、巻末問合せ先に連絡してください。なお、返還時の振込手数料は受取人負担となります。

④ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、不正行為となることがあり、試験の結果を無効とすることがあります。入学後でも入学の許可を取り消すことがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

#### 《注》

1. ダビンチ入試（総合型選抜）合格者は国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び入学手続等に関する個人情報（大学入学共通テスト受験者はその受験番号を含む）が独立行政法人大学入試センターに送達されます。
2. 出願書類にかかる個人情報は、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知及び入学手続にのみ使用します。なお、同業務遂行にあたり守秘義務を課した業者にその一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。
3. 入学者選抜における個人成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析及び各種統計資料作成、今後の入学者選抜に係る調査・研究、入学料・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考にのみ使用します。なお、同業務遂行にあたり守秘義務を課した業者にその一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人成績を提供します。



6. アドミッションポリシー

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
応用生物学学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会的の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	第1次選考では、出願書類により、適性、探究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考能力、文章表現能力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、面接試験により、説明能力、理解力、論理的思考能力、理数系の基礎学力などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命と自然に対する敬愛</li> <li>・総合的学習能力、柔軟な発想、論理的な思考能力</li> <li>・自然界のさまざまな事柄について、生物学だけでなく多面的、論理的に思考できる、積極的かつ創造的な人</li> </ul>
物質・材料科学学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識(総合力)と高い専門性の素養を身につけた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	第1次選考では、出願書類により、適性、探究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考能力、文章表現能力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、面接試験により、基礎学力、目的意識、自主性、適性などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造的、論理的思考能力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力</li> <li>・自然科学を学ぶための基礎学力</li> <li>・化学に対する旺盛な好奇心</li> <li>・物質や材料さらには生体関連物質に対する好奇心・学習意欲</li> <li>・化学だけの一面的な視野にとらわれず、広い視野とソフトで多様な思考を持ち、課題に向かって情熱的に取り組む意欲</li> </ul>
設計工学学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える幅広い産業分野で活躍する人材の育成を目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、探究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考能力、文章表現能力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、面接・口頭試問により、説明能力、理解力、論理的思考能力、発想の斬新性、理数系の基礎学力などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学、物理の基礎学力</li> <li>・論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識</li> <li>・自然現象に対する好奇心と洞察力</li> <li>・チャレンジ精神と行動力</li> </ul>
設計工学学域	情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支えるICT分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICTを活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	第1次選考では、出願書類により、適性、探究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考能力、文章表現能力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、情報工学に関連する内容の講義に対するレポート作成により、基礎学力や論理的思考力、表現力を評価するとともに、課題提示・グループディスカッションにより、提示された課題の中から問題点と解決策を見いだす能力、集団の中で他人の意見を理解し、協調して意見をまとめ上げる能力を評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な思考力や表現力、数学の基礎学力</li> <li>・好奇心、チャレンジ精神と行動力</li> <li>・人や社会への関心、および将来ICT分野でリーダーシップをとって活躍しようとする意欲</li> </ul>
設計工学学域	機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身につけた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、探究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、独創性、社会性、積極性を評価するとともに、講義・レポート作成により、基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考能力、文章表現能力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、機械工学に関連する課題を提示し、自らの力で観て、考えて、創造し、それを表現する力の素養と、論理的思考能力、創造力、チャレンジ精神、数学、物理、英語等の基礎学力をプレゼンテーションにより評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的思考力、創造力、チャレンジ精神と行動力、基礎学力</li> <li>・ものづくりが好きで、創意工夫して忍耐強く問題に取り組む力</li> <li>・自然に対する興味や好奇心、注意深い観察力</li> </ul>

(次のページに続く)

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	歴史と先端、地域性と国際性、芸術と科学が同居する京都という地において、デザイン学と建築学を広い概念としての「デザイン」として一つの視野の下にとらえ、自然・都市・建築環境、ものづくり、社会・経済構造、人間・社会関係といった多様な社会問題に対し、デザインによる解決ができる人材の育成を目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を測る評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考能力、文章表現能力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、プレゼンテーション試験により自己の目的意識、創造力、独創性等を評価するとともに、課題提示・グループディスカッションにより、問題分析力、プレゼンテーション能力、独創性、意欲、リーダーシップ、協調性を評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力</li> <li>美や造形に対する関心と感受性</li> <li>人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力</li> <li>コミュニケーション能力と協調性</li> <li>新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意</li> </ul>

一般プログラム【グローバル】及び地域創生Tech Program では、上記の各課程のアドミッションポリシー（一般プログラム【一般】）に加えて、独自のアドミッションポリシーがあります。その内容は以下のとおりです。

募集区分等	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
一般プログラム【グローバル】	各課程の「人材育成の目標」と同じ。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を、志望する学域の講義・レポート作成により基礎知識、論理的思考力等を評価するとともに、英語スピーキング・ライティング試験により、英語での情報収集力、批判的思考力、自身の考えや意見を英語で効果的に発信する力を評価します。 最終選考では、各課程における講義・レポート作成、面接試験、プレゼンテーション等により論理的思考力や表現力を評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課程の「求める能力・適性」に加えて、各課程の専門を通して産業等のグローバル展開に貢献する意欲</li> <li>科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心と、客観的な判断力、論理的説明力</li> <li>英語によるコミュニケーション能力</li> </ul>
地域創生Tech Program【一般】【地域】【社会人】	各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、チームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材の育成を目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を、志望する学域の講義・レポート作成により基礎知識、論理的思考力等を評価するとともに、地域課題レポート試験により地域社会等の課題に対する理解力、分析力、提案力を評価します。 最終選考では、各課程における講義・レポート作成、面接試験、プレゼンテーション等により論理的思考力や表現力を評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課程の「求める能力・適性」に加え、各課程の専門を通して地域創生に貢献するための科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心</li> </ul>

## 7. 入学者選抜方法等

### (1) 実施日

- ① 第1次選考  
令和6年10月5日(土)
- ② 最終選考  
令和6年11月2日(土)

### (2) 試験場 (巻末の試験場への案内参照)

京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地)

#### 《試験場来場にあたっての注意》

試験場へは公共交通機関又は徒歩にて来場してください。公共交通機関を利用する場合は、天候等も考慮し、時間に余裕をもって、早めに移動することを心がけてください。

なお、試験場及びその周辺には駐車、駐輪できる場所はありません。また、自動車、バイク、自転車での来場は、受験生及び近隣住民、本学関係者の通行にかかる安全面への配慮から、保護者等による送迎も含め禁止します。

### (3) 入学者選抜方法

大学入学共通テスト及び教科・科目型の学力試験を免除し、次の方法による選抜の結果、ならびに提出書類の内容を総合して判定します。

- ① 第1次選考  
第1次選考では提出された出願書類及びスクーリングにより選考を行います。  
スクーリングの内容は次のとおりです。なお、スクーリングでは基礎的な学力を問うことがあります。

募集区分	プログラム	時間
一般プログラム【一般】 (「講義・レポート作成」は、募集区分に関わらず、学域毎に行います)	出願書類	—
	講義・レポート作成	9:20～
	課題提示・レポート作成	13:40～
一般プログラム【グローバル】	出願書類	—
	講義・レポート作成	9:20～
	英語スピーキング・ライティング	13:40～
地域創生 Tech Program【一般】【地域】【社会人】	出願書類	—
	講義・レポート作成	9:20～
	地域課題レポート	13:40～

なお、出願書類は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、高等学校等における臨時休業等の実施の結果、出席日数や特別活動の記録や指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、志願者が不利益を被ることがないような評価を行うとともに、個々の志願者の成果獲得に向けた努力のプロセスや本学を志願し、本学で学ぼうとする意欲を多面的・総合的に評価します。

② 最終選考

最終選考では課程ごとにスクーリングによる選考を行います。

スクーリングの内容は、**一般プログラム【一般】【グローバル】、地域創生 Tech Program【一般】【地域】【社会人】**共通で次のとおりです。なお、スクーリングでは基礎的な学力を問うことがあります。また、合否判定は、第1次選考と最終選考を総合的に評価します。

課程・募集区分等	プログラム
応用生物学課程	面接
応用化学課程	面接
電子システム工学課程	面接・口頭試問
情報工学課程	講義・レポート作成
	課題提示・グループディスカッション
機械工学課程	課題提示・プレゼンテーション
デザイン・建築学課程	プレゼンテーション
	課題提示・グループディスカッション

● 受験についての注意

- ① 受験生は、試験の当日「令和7年度京都工芸繊維大学ダビンチ入試（総合型選抜）受験票」をインターネット出願システムより印刷のうえ、持参し、監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合又は忘れた場合は試験場本部に申し出てください。
- ② 第1次選考、最終選考それぞれの試験当日の集合場所や注意事項については、試験実施日の1週間前をめぐり本学ホームページ（巻末問合せ先参照）に掲載予定です。
- ③ 受験生は、各プログラム開始15分前までに所定の試験室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。
- ④ 第1次選考では、試験開始後、20分以上遅刻して試験室に到着した場合、受験することができません。
- ⑤ 第1次選考では、指定のプログラムを1つでも受験しなかった場合、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。
- ⑥ 試験には、黒鉛筆又はシャープペンシル及び消しゴムを持参してください。
- ⑦ 試験中は、受験票と監督者の指示するもの以外は机の上に置いてはいけません。
- ⑧ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、又は監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じ、受験を無効とします。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。
- ⑨ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に入試課に申し出てください。
- ⑩ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われた場合は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、次の試験時間の遅刻限度を超過した場合は、当該試験の受験も認めません。
- ⑪ 計時以外の機能が付いた時計及びこれと同様の機能をもつ文房具の持込を禁止します。
- ⑫ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し電源を切ってかばん等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。
- ⑬ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。

## 8. 合格者発表

次の日時に、合格者の受験番号を**本学ホームページ**（巻末問合せ先参照）に掲載します。なお、合格者には合格を通知するとともに入学手続きに必要な事項を郵送及び電子データの送付により通知します。また、個別の試験結果の照会には応じられません。

**第1次選考** 令和6年10月16日（水）16時（予定）

**最終選考** 令和6年11月13日（水）16時（予定）

※ダビンチ入試（総合型選抜）で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜（前期日程・後期日程）及び学校推薦型選抜にも出願ができます。

## 9. 入学手続

- (1) 合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。期日までに入学手続を行わなかった場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

なお、入学手続に必要な書類については、郵送及び電子データの送付により通知します。

### 入学手続期間

令和6年11月14日（木）から令和6年11月20日（水）（17時必着）まで

- (2) 原則として、ダビンチ入試（総合型選抜）の合格者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別の事情により入学を辞退する場合は、あらかじめ入試課学部入試係（巻末問合せ先参照）に連絡の上、「入学辞退届」を令和7年2月19日（水）（17時必着）までに本学学長宛に作成し、巻末書類提出先に提出してください。
- (3) 本学に入学手続を行ったときは、令和7年2月19日（水）までに入学を辞退した場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）を受験しても合格者となりません。

## 10. 入学に要する諸経費

### (1) 入学料及び授業料

- ① 入学料  
282,000 円
- ② 授業料  
267,900 円（半期） 535,800 円（年額）

- ※ 1. 入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。
- 2. 入学料の納入は、入学手続き時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。
- 3. 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の2期に区分して行います。納入月は、前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の2分の1に相当する額です。
- 4. 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

### (2) 学生教育研究災害傷害保険料及び付帯賠償責任保険料

4年間の保険料 4,660 円（予定）

- ※ 1. その他、必要に応じて納入する諸経費があります。
- 2. 納入方法等の詳細については、合格通知に同封します。
- 3. 令和7年3月31日（月）17時までに入学を辞退した場合、入学料以外は返還します。返還の方法については、巻末問合せ先に連絡してください。

## 11. ダビンチ カレッジ・レディネス プログラム（入学前教育）

ダビンチ入試（総合型選抜）合格者を対象に、ダビンチ カレッジ・レディネス プログラム（入学前教育）を実施します。なお、日程等詳細は合格者宛に案内を送付します。また、入学手続き完了後、本学でオリエンテーションを開催しますので、可能な限り参加するようにしてください。

### スクーリングによるトランジション教育

- ・基本的な知識とスキルの講義を行います。
- ・大学入学後に必要な課題発見と解決のスキルを身につけます。

## 12. 取得できる資格等

本学が特に定める教育課程を履修することによって取得することのできる資格等は、本学ホームページをご確認ください。なお、地域創生 Tech Program の学生については、資格等によっては、上位年次に配当されている科目を3年次前学期までに履修すること、3年次後学期以降も松ヶ崎キャンパスで開講される科目を受講することが必要な場合があります。

◇本学ホームページ（トップページ > 学生生活 > 学修関係 > 取得できる資格）

URL: [https://www.kit.ac.jp/campus\\_index/lesson\\_schedule/capacity/](https://www.kit.ac.jp/campus_index/lesson_schedule/capacity/)

### 13. 入学料及び授業料の免除並びに徴収猶予

#### (1) 入学料免除

「高等教育の修学支援新制度」（「授業料等減免」と「給付型奨学金」）の対象となる人は、申請に基づき選考の上、入学料の全額又は一部が免除される制度があります。

「高等教育の修学支援新制度」の対象とならない人に対する入学料免除制度はありません。  
（外国人留学生を除く）

外国人留学生は、令和6年4月以降に学資負担者が死亡し、又は入学する本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたこと等により、入学料の納入が著しく困難であると認められる場合は、願い出により選考のうえ、入学料の全額又は一部が免除される制度があります。入学時及び令和7年3月（予定）に申請を受け付けます。

#### (2) 授業料免除

「高等教育の修学支援新制度」（「授業料等減免」と「給付型奨学金」）の対象となる人は、申請に基づき選考の上、授業料の全額又は一部が免除される制度があります。

「高等教育の修学支援新制度」の対象とならない人に対する授業料免除制度はありません。  
（外国人留学生を除く）

外国人留学生は、経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる人は、学期ごとの願い出により選考のうえ、授業料の全額又は一部が免除される制度があります。

なお、令和7年度前期分授業料免除の申請方法は、在留資格によって次のとおり異なります。

#### ● 令和7年度前期分の授業料免除の申請方法（外国人留学生）

##### I. 在留資格が「留学」の人及び入学時までに「留学」の在留資格を取得する人のうち、次のいずれかに該当する人

###### (1) 私費外国人留学生

(2) 出願時には国費外国人留学生であるが、入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人又はその申請をする予定がある人も含まれます。）

入学試験出願時に申請を受け付けます。出願期間後の申請は受け付けません。 申請書類は本学ホームページ ([https://www.kit.ac.jp/en/prospective\\_student/life\\_fee/](https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/)) よりダウンロードしてください。

免除選考の結果は、合格発表日に、申請書に記載のメールアドレス宛に、免除選考結果通知書を送付します。

なお、授業料免除の申請が入試の可否判定に関係することは一切ありません。

##### II. 上記 I 以外の在留資格の人

入学時までに申請を受け付けます。

申請方法は、最終選考の合格通知書に同封する入学時書類で確認してください。

#### (3) 入学料徴収猶予・授業料徴収猶予

経済的理由により納入期限までに入学料・授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる人は、願い出により選考のうえ、徴収が猶予される制度があります。

#### (4) 京都工芸繊維大学特待生制度

本学独自の制度として、各年次における学業成績が特に優秀な学生に対し、2、3、4年次において授業料の半期分を全額免除する特待生制度があります。

## 14. 奨学金制度

### (1) 日本学生支援機構奨学金

学業・人物ともに優秀で経済的理由のため修学困難と認められる場合は、願い出により選考のうち、奨学金の貸与又は給付を受けることができます。

### (2) その他の奨学金

地方公共団体及び民間育英団体による奨学金制度があります。採用数は限られますが願い出により選考のうち、奨学金の貸与又は給付を受けることができます。

また、地域創生 Tech Program では、卒業後に京都府北部の地元企業への就職を希望する人を対象とする奨学金も予定されています。

## 15. アルバイト紹介

本学では、アルバイトを行う必要のある学生の皆さんに、入学後、京都工芸繊維大学アルバイト紹介システムによりアルバイトを紹介しています。パソコンや携帯電話からアルバイト求人情報を閲覧できます。

◇本学ホームページ（トップページ＞学生生活＞生活支援＞アルバイトの紹介）

URL: [https://www.kit.ac.jp/campus\\_index/life\\_fee/work/](https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/work/)

## 16. 住まい

### (1) 松ヶ崎学生館

松ヶ崎学生館は、本学学生及び提携大学の留学生等の居住用施設として、松ヶ崎キャンパス西隣に設置された学生向け住居です。松ヶ崎学生館は、本学協力のもと、株式会社ジェイ・エス・ビーにより管理・運営されています。

同館への入居をご希望の方は、同社関連の UniLife 松ヶ崎北山通店（以下参照）までお問い合わせください。なお、同店舗では松ヶ崎学生館以外の住まいも取り扱っています。

◇本学ホームページ（トップページ＞学生生活＞生活支援＞住まい）

URL: [https://www.kit.ac.jp/campus\\_index/life\\_fee/house/](https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/house/)

◇松ヶ崎学生館（Unilife ホームページ内）: <https://unilife.co.jp/view/10846/>

◇UniLife 松ヶ崎北山通店（フリーダイヤル 0120-001-242）

店舗 URL: <https://unilife.co.jp/store/292/>

### (2) その他の住まい

ワンルームマンション、アパート等の物件に関する情報は、株式会社学生情報センター京都今出川店（本学業務委託業者）にお問い合わせください。

◇本学ホームページ（トップページ＞学生生活＞生活支援＞住まい）

URL: [https://www.kit.ac.jp/campus\\_index/life\\_fee/house/](https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/house/)

◇株式会社学生情報センター京都今出川店（フリーダイヤル 0120-356-546）

店舗 URL: <https://749.jp/store/imadegawa/>

## 17. 学部・学域・課程紹介

本学では、学部・学科制にとらわれないプログラム中心の教育運営を行うために、学域、課程を設置しています。

工学科学部及び各学域、課程の内容は本学ホームページをご確認ください。

◇本学ホームページ（トップページ＞学部・大学院・センター＞工学科学部）

URL: [https://www.kit.ac.jp/edu\\_index/school-science-and-technology-color/](https://www.kit.ac.jp/edu_index/school-science-and-technology-color/)



## 18. 地域創生 Tech Program について

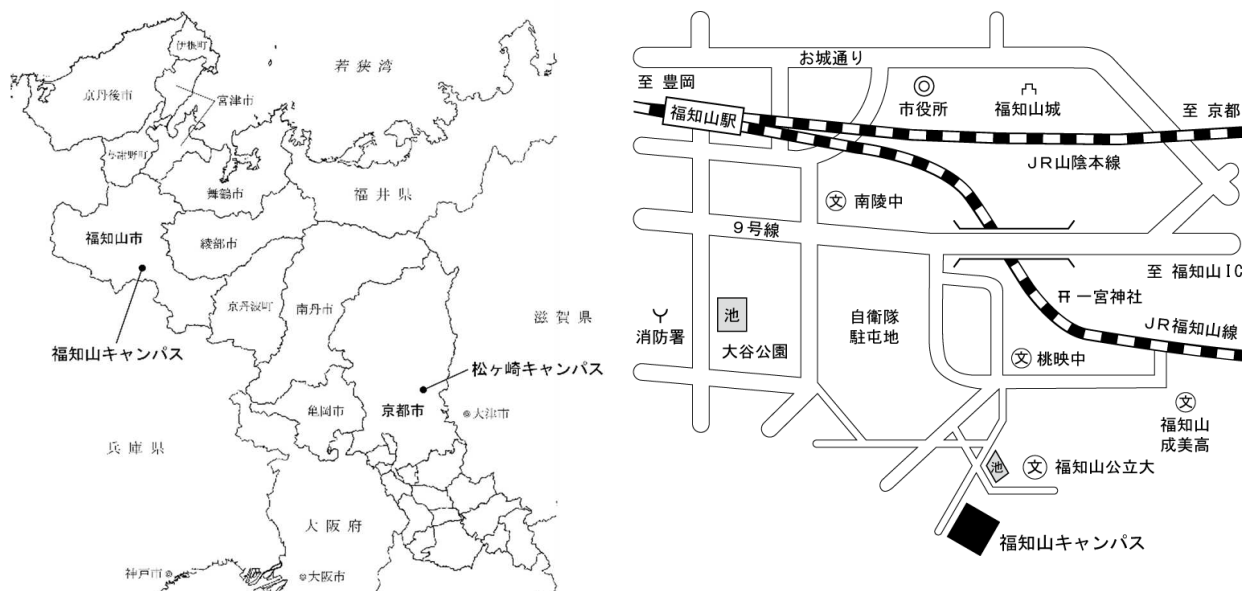
地域創生 Tech Program は、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、各課程の専門知識及び技術をベースに、グローバルな視野で協働することができる人材を育成することを目的として開設された学位プログラムです。

本プログラムの学生は、一般プログラムの学生と同様に各課程のいずれかに所属し、**1 年次から 3 年次前学期まで京都市の松ヶ崎キャンパス**で開講される授業科目を履修して専門知識及び技術を身に付けます。

**3 年次後学期には京都府北部の福知山キャンパス**を中心として、地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップといった実践的・能動的な学習に取り組みます。

本プログラムの卒業生は、各課程の専門力に加え、新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識及びチームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材として活躍することが期待されます。

福知山キャンパスの地図は以下のとおりです。福知山キャンパスと松ヶ崎キャンパスの距離は約 100km で、両キャンパスの移動は鉄道（特急利用）で片道約 2 時間を要します。



※入学試験の試験場は、京都市の松ヶ崎キャンパスです。福知山キャンパスでは入学試験を実施しませんので、注意してください。

※単位の修得状況によっては、福知山キャンパスで学ぶ時期が 3 年次後学期より後になる場合があります。

※地域創生 Tech Program 以外の一般プログラムの学生は、入学から卒業まで松ヶ崎キャンパスで学びます。

※入学後は地域創生 Tech Program から同一課程の一般プログラムに 3 年次編入学することはできません。

## 19. 過去のダビンチ入試（総合型選抜）実施状況

工芸科学部で実施した入学者選抜の実施状況を、ホームページに掲載しております。

◇本学ホームページ（トップページ > 入試情報 > 学部入試情報 > 過去の入試データ）

URL : [https://www.kit.ac.jp/test\\_index/school\\_news/past-s/](https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/past-s/)

令和7年度(令和6年度実施)工芸科学部1年次学生募集人員

令和6年度(令和5年度実施)までの募集人員

課程	合計	一般プログラム							地域創生Tech Program					
		小計	一般選抜		ダビンチ入試 (総合型選抜)		学校推薦 型選抜	特別 入試	小計	一般 選抜	ダビンチ入試 (総合型選抜)			学校 推薦型 選抜
			前期 日程	後期 日程	一般	グロー バル	一般	私費 外国人 留学生			前期 日程	一般	地域	
応用生物学課程	50	48	22	10	5	1	10	若干名	2	若干名	1	若干名	1	
応用化学課程	169	166	95	24	6	3	38	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
電子システム工学課程	61	58	34	10	3	1	10	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
情報工学課程	61	58	30	15	5	1	7	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
機械工学課程	86	83	48	15	4	1	15	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
デザイン・建築学課程	156	148	105	-	30	3	10	若干名	8	若干名	4	2	若干名	2
合計	583	561	334	74	53	10	90	-	22	-	合わせて15		7	



令和7年度(令和6年度実施)募集人員

※令和6年度からの変更箇所は太字下線で示しています。

課程	合計	一般プログラム							地域創生Tech Program					
		小計	一般選抜		ダビンチ入試 (総合型選抜)		学校推薦 型選抜	特別 入試	小計	一般 選抜	ダビンチ入試 (総合型選抜)			学校 推薦型 選抜
			前期 日程	後期 日程	一般	グロー バル	一般	私費 外国人 留学生			前期 日程	一般	地域	
応用生物学課程	50	48	<b>30</b>	二	<b>7</b>	1	10	若干名	2	若干名	1	若干名	1	
応用化学課程	169	166	<b>115</b>	二	6	3	<b>42</b>	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
電子システム工学課程	61	58	34	二	<b>5</b>	1	<b>18</b>	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
情報工学課程	61	58	<b>38</b>	二	5	1	<b>14</b>	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
機械工学課程	86	83	<b>58</b>	二	4	1	<b>20</b>	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
デザイン・建築学課程	156	148	105	二	30	3	10	若干名	8	若干名	4	2	若干名	2
合計	583	561	<b>380</b>	二	<b>57</b>	10	<b>114</b>	-	22	-	合わせて15		7	

注1. 一般選抜前期日程では、第1志望で地域創生Tech Programを選択した志願者は、同一課程に限り、第2志望に一般プログラムを選択することが可能です。

注2. 募集人員の取り扱いは次のとおりとします。

- ①一般プログラムのダビンチ入試(総合型選抜)と学校推薦型選抜の入学手続き数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。
- ②私費外国人留学生の募集人員(若干名)は、各課程の募集人員には含まれません。
- ③地域創生Tech Programのダビンチ入試(総合型選抜)では、デザイン・建築学課程を除き、一般と地域合わせて募集します。また、社会人の募集人員(若干名)は、地域創生Tech Programの各課程の募集人員に含まれます。
- ④地域創生Tech Programのダビンチ入試(総合型選抜)のデザイン・建築学課程で募集する一般(又は地域)の合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を地域(又は一般)に加えます。
- ⑤地域創生Tech Programのダビンチ入試(総合型選抜)の入学手続き数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生Tech Programの学校推薦型選抜に含めます。さらに、地域創生Tech Programの学校推薦型選抜の入学手続き数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生Tech Programの一般選抜前期日程の募集人員(若干名)に含めます。
- ⑥地域創生Tech Programの入学手続き数(一般選抜(前期日程)においては合格者数)が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。

注3. ダビンチ入試(総合型選抜)で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び一般選抜に出願できません。

注4. 学校推薦型選抜の合格発表前に、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜に出願できますが、学校推薦型選抜に合格した場合には、一般選抜を受験しても合格対象者になりません。

## 志望理由書作成要領

- ・志願者自身が作成してください。
- ・Microsoft Word 等文書作成ソフトウェア又は手書きで作成してください。
- ・手書きする場合は、黒のボールペンを使用し、横書きで記入してください。欄外には記入しないでください。誤って記入した場合は、該当箇所に二重線を引き、その上に正しい文字を記入してください。訂正印は不要です。
- ・文書作成ソフトウェアを用いて作成する場合、フォントは明朝体又はゴシック体を使用し、11ポイント以上の文字サイズ、黒字（赤字等黒以外のフォントの色は使用不可）で作成してください。
- ・A4縦長で作成してください。なお、「1.」と「2.」それぞれ1ページに収まるように作成してください。余白を広げたり、狭くしたりしないでください。
- ・図や表は使用しないでください。
- ・必要に応じて、太字・斜体・下線を使用してもかまいません。
- ・「受験番号」、「志願者氏名」、「志望課程」欄には、入学願書と同一の内容を記入してください。
- ・「募集区分」は、出願する区分を○で囲んでください。
- ・このページ（志望理由書作成要領）は、提出する必要はありません。
- ・片面、白黒印刷してください。1ページ目と2ページ目のホッチキス留めは不要です。
- ・「1.」で記載する活動について、表彰状、資格取得証明書や発表資料等がある場合には、その写しを提出してください。なお、提出された資料は返却できません。また、A4サイズに収まるものに限ります。提出に当たっては、下の図のように、資料の右上に入学願書に記載されている6桁の本学受験番号を記入してください。

XXXXXX ← 受験番号

表彰状などの写し

受験番号							
------	--	--	--	--	--	--	--

## 京都工芸繊維大学 ダビンチ入試(総合型選抜) 志望理由書

志願者氏名	
募集区分	一般プログラム【 一般 / グローバル 】 地域創生 Tech Program【 一般 / 地域 / 社会人 】
志望課程	課程

【 】の該当の区分に  
○をして下さい

1. これまでの自分を振り返り、下記の2つの活動のうち、一生懸命取り組んだ活動に「○」をして下さい（両方でも可）。その活動について、どのような動機や目的のもと、どのように取り組み、どのような結果を得たか、具体的に記して下さい。

- 学校内での学習や課外活動など
- 学校外での自主的な取り組みや活動（自主学習・探求、趣味・特技などを含む）

受験番号						
------	--	--	--	--	--	--

2. 「1」での振り返りから現在の自分を分析し、志望する課程に関心を持った理由とともに、入学後その課程で学びたいことを具体的に記して下さい。

※地域創生 Tech Program の志望者は地域創生という観点を踏まえて書いてください。

--

## 履歴書作成要領

- 志願者自身が作成してください。
- Microsoft Word 等文書作成ソフトウェア又は手書きで作成してください。
- 手書きする場合は、黒のボールペンを使用し、横書きで記入してください。なお、記入欄がたりない場合は、適宜、本様式をコピー又はA4縦長の自由様式で作成してください。欄外には記入しないでください。誤って記入した場合は、該当箇所に二重線を引き、その上に正しい文字を記入してください。訂正印は不要です。
- 文書作成ソフトウェアを用いて作成する場合、フォントは明朝体又はゴシック体を使用し、黒字（赤字等黒以外のフォントの色は使用不可）で作成してください。記入欄がたりない場合は、適宜枠の高さを広げ、行や枠を追加してかまいません。
- A4縦長で作成してください。
- 「受験番号」欄には、入学願書印刷時に付番されている受験番号を記入してください。
- 「志望課程」、「氏名」、「募集区分」欄には、入学願書と同一の内容を記入してください。
- 「職歴」欄は募集区分「地域創生 Tech Program 【社会人】」の出願者のみ記入してください。外国の学校出身者は提出の必要はありません。
- 西暦、和暦どちらで作成してもかまいません。
- このページ（履歴書作成要領）は、提出する必要はありません。
- 片面、白黒印刷してください。
- 複数ページにわたる場合は左上をホッチキス留めしてください。

## 履歴書

志望課程		募集区分	
氏名			

## I. 学歴

## 1. 初等教育(小学校)

学校名			
所在地(都道府県又は国名)			
入学年月	年	月	入学
卒業年月	年	月	卒業
修業年限	年		

## 2. 前期中等教育(中学校)

学校名			
所在地(都道府県又は国名)			
入学年月	年	月	入学
卒業年月	年	月	卒業
修業年限	年		

## 3. 後期中等教育(高等学校)

学校名			
所在地(都道府県又は国名)			
入学年月	年	月	入学
卒業年月	年	月	卒業
修業年限	年		

## 4. 高等教育(専修学校・大学等)

学校名			
所在地(都道府県又は国名)			
入学年月	年	月	入学
卒業年月	年	月	卒業
修業年限	年		



受験番号	
------	--

Ⅱ. 職歴（募集区分「地域創生 Tech Program【社会人】」の出願者のみ作成・提出）

年	月	会社名・所属部署等
令和7年3月31日時点の通算の職務経歴		年      か月

# 試験場(京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス)への案内

## ■京都駅からお越しの場合

京都市営地下鉄烏丸線からすまに乗換え、「京都」駅より「国際会館」行きに乗車

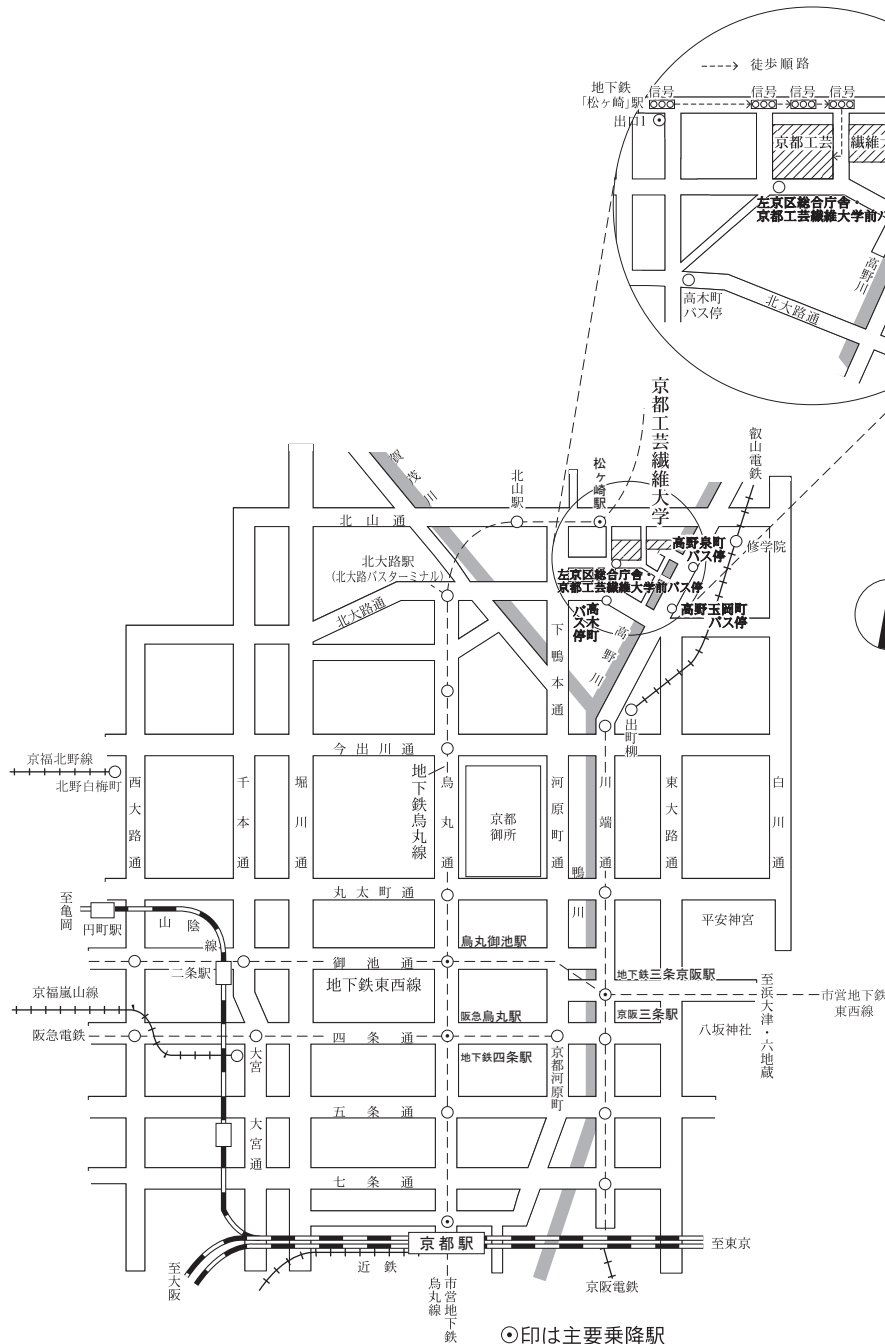
## ■阪急「烏丸」駅からお越しの場合

京都市営地下鉄烏丸線に乗換え、「四条」駅より「国際会館」行きに乗車

## ■京阪「三条」駅からお越しの場合

市営地下鉄東西線に乗換え、「三条京阪」駅より「太秦天神川」行きに乗車、うずまさ てんじん がわ「烏丸御池」駅でからすま おいけ市営地下鉄烏丸線「国際会館」行きに乗換え

「松ヶ崎」駅下車、「松ヶ崎」駅から徒歩8分、「松ヶ崎」駅「出口1」から右(東)へ、4つ目の信号を右(南)へ180m



◎印は主要乗降駅

京都工芸繊維大学  
令和7年度 ダビンチ入試（総合型選抜）実施日程

	第1次選考	最終選考
出願期間	令和6年9月2日(月)~9月9日(月)	
試験実施日	10月5日(土)	11月2日(土)
合格発表	10月16日(水)16時(予定)	11月13日(水)16時(予定)
入学手続期間	11月14日(木)~11月20日(水)	
追加合格	—————	—————

発行年月 令和6年6月

問合せ先・書類提出先

京都工芸繊維大学 入試課学部入試係

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

TEL: 075-724-7164 FAX: 075-724-7160

e-mail: nyushi@kit.ac.jp

大学ホームページ: <https://www.kit.ac.jp/>

学部入試最新情報ページ: [https://ac.web.kit.ac.jp/02/school\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/school_news.php)

ダビンチ入試（総合型選抜）のページ:

[https://www.kit.ac.jp/test\\_index/school\\_news/type\\_ao/](https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/type_ao/)

電話での問合せは、月～金（祝日及び8月13日～16日は除く）の9時～17時に受け付けます。